

おくどさん

「くど」「へっつい」「かまど」とも呼ばれ、江戸時代には粘土を固めて造られていました。当時は、一家に一台の「おくどさん」がふつうでしたが、時代が経つにつれ大小数個のかまどを横に並べた大家族用のものが主流になっていきました。明治以降、石やタイル、コンクリートで造られた「おくどさん」も現れるようになりましたが、電気炊飯器が出回るようになるとしだいにその姿を消していきました。

(注:かまどの神を「お荒神さん」と言います。「くど」も「お」がついて「さん」づけです。とてもぬくもりを感じます)



茶釜が似合うおくどさん



お寺のおくどさん



燃料にコークスを使用した業務用おくどさん(製菓)



家庭用おくどさん



手軽に場所替えできるおくどさん



プロパンガス使用の台所



電化された台所